

清水 英佑 (日本産業衛生学会理事長、慈恵会医科大学環境保健学教授)

酒井 亮二 (国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長)

国際組織委員長 渡辺 知保 (東京大学医学部人類生態学教授)

安心できる環境と職場

国際予防医学リスクマネジメント連盟(本部・東京都文京区本郷)が来る2006年6月29日(木)-30日(金)、
国連大学ウタント国際会議場(東京・渋谷区)にて、「環境と労働の健康危機管理国際会議」を開催します。

「安全・安心の職場の構築」 2006年6月29日(木)

講演

基調講演では、日本産業衛生学会清水英佑理事長が職業保健の歴史を講演します。また、長谷川真一
国際労働衛生機関(ILO)駐日代表が国際労働安全の動向を紹介し、C.Portier 米国環境健康研究所副所長
による発癌物質のリスク管理の講演が行われます。

労働ストレスのリスク管理に関する特別講演、および目黒公郎東京大学生産技術研究所減災工学教授
による災害の危機管理に関する特別講演が行われます。

教育シンポジウム

「アスベストのリスク管理」に関する教育シンポジウムが行われます。高橋謙産業医科大学衛生学教授、車谷
典男奈良県立医科大学衛生学教授、池田耕一国立保健医療科学院建築衛生部部長および森永謙二独立行政
法人労働安全衛生総合研究所部長の各氏が、健康影響調査方法の実例、アスベストの環境と人体での
測定方法、アスベスト低減のための工学的技術および行政対策の現状を報告します。

「求められる安心・安全の環境と生態系」 2006年6月30日(金)

講演

国連大学 Ginkel 学長による環境問題の国連大学の環境問題に関する基調講演画行われます。特別講演
では、植田和弘京都大学地球環境学堂教授による地球環境と経済の調和のためのあらたな戦略、およ
び Anthony Powers 国連大学災害危機管理部による国連と合衆国の保安・防衛・災害危機管理対策が
おこなわれます。教育講演では、酒井亮二国際予防医学リスクマネジメント連盟理事長が、予防医
学と健康科学でのリスクマネジメント学を講義します。鳥インフルエンザ流行と対策に関するセミ
ナーが行われます。

シンポジウム

東京大学医学部人類生態学教室渡辺知保教授が、「環境リスクの中の健康リスク」と題するシンポジ
ウムを開催します。森千里千葉大学環境生命医学教授による将来の世代のための環境予防医学の確立、
田中嘉成独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター生態リスク評価研究室室長による生態
系リスク、福士謙介東京大学サステナビリティ学連携研究機構助教授による都市の中の総合リスク管理、
および戸田英作環境省環境保健部環境安全課課長補佐による環境汚染に対する日本での行政的取り組
みに関する講演が行なわれます。これらにより、生態学的健康に従う新しいリスク管理戦略を総合討論
します。

また、両日とも、日本と世界のエントリーから厳選された一般演題が発表されます。

以上、国際会議の対象者は研
究者、産業医、行政担当者、
報道関係者、健康や安全の問
題に関心のある企業・市民・
学生です。2006年6月20日
までに事前登録が必要です。
申し込み用紙は下記のホー
ムページをご覧ください。

【問い合わせ・連絡先・申込 等】

国際予防医学リスクマネジメント連盟事務本部
日本予防医学リスクマネジメント学会事務本部
担当 木村、増田
(TEL / FAX) 03-3817-6770
(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-36-2-103
(電子メール) jsrmpm-office@umin.net
協力事務局: 機関誌「安全医学」編集事務局
東京大学環境安全センター 刈間研究室

国際会議ホームページ <http://www.urmpm.org/Envsafety2006/jindex.html>